

伊賀市社会事業協会

2013

2013年11月1日 第27号

発行者

社会福祉法人伊賀市社会事業協会

理事長 西岡 時彦

〒518-0032 三重県伊賀市朝屋739番地の2

TEL: 0595 - 21 - 5545

FAX: 0595 - 23 - 6670

URL <http://www.iga-sjk.or.jp/>

杉山和一 検校

社会福祉法人伊賀市社会事業協会

会長 森下 達也

このたびは、わが郷土出身の大先達杉山和一検校を取り上げさせて頂きたい。一口に紹介すれば、江戸時代初期に、視覚障害者がこの世を生きぬくための基礎教育と職業能力を身に付ける講習所を、江戸に開いた人物である。世界の教育史上、実は最も早い視覚障害者への支援教育であったという。

杉山和一は、慶長十五年、藤堂藩士杉山重政の長男として生まれたが、十歳の頃失明し、家督を弟に譲って江戸で鍼術を学ぶことになる。当時、撚鍼法や打鍼法といった鍼術が行なわれていたが、和一は苦心に苦心を重ね、管鍼法という鍼術を考案した。針を細い管に入れ、針の頭を打って刺す方法で、これこそ盲人に最適の鍼術であることを確信し、以後長い時をかけてその技法の確立に精進したのである。管鍼法の着想は、江の島（藤沢市）の、弁財天のお告げによるものであったという語りつたえがあるが、和一が終生江の島弁財天への参詣を欠かさなかったことは史実である。今日、全国の視覚障害者の間に弁財天信仰が広く根付いているのは、和一の信仰にかかわるものであろう。

しかし、杉山和一が大成したのはその晩年に近い。治療実績が広く世に伝えられるにもなって、諸大名の江戸藩邸から治療に招かれるようになったが、彼の運命を決めたのは貞享二年江戸城に召されて將軍徳川綱吉や大老堀田正俊に鍼治を行ない、著しい効を奏したことであった。その時和一はすでに七十五歳、やがて総検校の地位に拔擢され、奥医師の最高位に就いたのである。元禄二年には小川町に屋敷を拝領し、旗本としての地位をたまわった。加えて、城中大奥までも駕籠のまま出入りが許されるという空前絶後の優遇を受けることになったが、これは盲目の老医に対する將軍の思いやりであったと伝えられる。

詳述するだけの紙面はないが、和一の業績として特記すべきことは、鍼治講習所（鍼塾）を開き、杉山流三部書を教科書として

数百人にのぼる門弟を教育していることである。鍼術だけでなくまず基礎学力を身に付けることにも力を入れたと伝えられる。日本の視覚障害者の生活力は、世界の如何なる国に比しても負けないうというが、その原点は、和一の講習所で教育を受けた門弟らが全国各地へ散って、その学びを広めたことにあった。元禄六年には將軍綱吉から二千坪近い屋敷を隅田川左岸に拝領し、その中に弁財天も祀ったがこれは現在の杉山神社の位置にあたる。翌元禄七年五月十八日、杉山和一は、八十五歳の生涯を静かに閉じた。遺骸は生前の志に従って、江の島の一隅に葬られた。

藤沢市片瀬海岸に近い陸繋島江の島は今や一大行楽地で、和一が参詣していた時代の姿を思い浮かべるのはむづかしいだろう。私は二十数年前の暑い日、汗を拭きふき江の島への橋を渡った。登り坂右手の急斜面に「前総検校即明院殿眼叟元清権大僧都」と法名の刻まれた墓があった。眼下の海を若者たちのヨットが帆走するが、この墓の存在を知る観光客は殆どいないであろう。

杉山和一がもし晴眼者であつたら、多分藤堂藩士としての平凡な一生を送つたであろうが、自らの目に光を失ったが故に、後世まで多くの視覚障害者へ生きる力を与えつづけることになったのである。その生涯はまさに天命というほかないであろう。

（三重県社会福祉協議会会長）



鎮西八郎為朝 面は民俗面（上野天神祭）
松田 昇 写真集「風土記」より



新園舎に引越しするよ

中瀬城東保育園



ステンドグラスが入った丸い窓が特徴の新園舎

秋晴れの下、年長児が完成間近の新園舎を見学に行きました。

子どもたちは「わあ、でっかいな」「丸い窓や、13個もあるよ」「プールはどこにあるんやろ」「わたしたちの部屋はどこかな」などと大興奮。鮮やかなスカイブルーの非常階段を見つけ「ぼくらの部屋へあがる階段なのかな」と現場監督さんに尋ねると「火災や地

震が起こった時に逃げるための階段だよ」と教えてくれました。また、玄関の奥に見える波



園舎を見学する子どもたち

模様の壁の向こうには階段があると聞いて「えっ、あそこから2階に上がれるの」と不思議そうにフェンスの隙間から覗き込んでい



「あそこから2階に上がれるの」

ました。

新園舎での生活やあそびを思い描きながら、引っ越しを心待ちにしている子どもたちです。

“伊賀FCくノ一” サッカー教室 ～サッカー選手になりたいな～

睦 保 育 園

当園では、5歳児を対象に“なでしこリーグ・伊賀フットボールクラブくノ一”の選手によるサッカー教室を年3回実施しています。

コーチが「FCくノ一の小野です」と自己紹介すると、子どもたちから「ぼく、なでしこリーグ知ってるよ」「すごい、かっこ

いい」と歓声が上がりました。まずは、ボールに慣れるよう、しっぽ取りゲームやキャッチボール、キッ



小野選手とキャッチボール



「ぼくがゴールを決めるよ!」

クボールなどをしました。その後チームに分かれて試合をしました。子どもたちの集中力とエネルギーな動きには驚かされます。「大きくなったらサッカー選手になりたい」という声がたくさんあり、未来への夢が膨らんだようです。



夢中で制作している子どもたち

来る11月9日(土)、三重県立ゆめドームうえのにおいて開催する子どもフェスティバルの準備を進めています。今年のテーマは「自然の中であそぼうよ」です。

保育園では子どもたちと一緒にアイデアを出し合い、素材を生かして、自然の不思議さや驚きを体感できるようにと工夫しながら制作しています。あそび

第28回子どもフェスティバルに向けて ただ今制作中



何ができるかな？

の広場は、当法人14保育園の子どもたちが作ったおもちゃでいっぱいです。

ぜひ、お越しください。

みんな仲よくあそぼうね ～園児への人権啓発～

予野保育園

伊賀人権擁護委員協議会の方々に人権啓発絵本の読み聞かせをしていただきました。

困っている子には、優しく声をかけたり、お互いが認め合い助け合うことが大切であると教えていただきました。



「友だちと仲良くしませう」



「楽器とその音色を紹介します」

爽やかなサウンドの中で世代間交流

みどり保育園・かしのみ園



演奏に聴き入る親子

三重県立上野高等学校吹奏楽部との交流コンサートを開催しました。かしのみ園の親子、みどり保育園の4、5歳児、日中一時支援事業所ヴェルデの小学生が参加しました。「となりのトトロ」や「さんぽ」と一緒に歌い、童謡やクラシックなどを鑑賞しました。ドラムに合わせてリズムあそびもしました。

高校生が奏でる本物の音色に触れ、舞台とフロアが一体になって、またたく間に時間が過ぎていきました。

小さなお客様

特別養護老人ホーム 第二梨ノ木園



肩たたきをしてくれました

子どもたちが
らプレゼントさ
れた手作りの風
鈴は、利用者の
皆さんの部屋に
飾りました。風
鈴の心地よい音
色は、第二梨ノ
木園のこの夏の
風物詩となりま
した。

曙保育園の園児
が、第二梨ノ木園
の利用者の皆さん
と交流し、たくさ
んの笑顔を届けて
くれました。
元氣いっぱい
の歌声や愛らしい仕
草に、利用者の皆
さんは「かわいら
しいなあ」「元氣をもらったよ」と、とび
きりの笑顔で話されていました。子どもた
ちと一緒に歌ったり、手遊びをしたりして
あっという間に時間が過ぎました。



「よく来てくれたね」

アロハ・オエ!

—あなたが愛されますように—

身体障害者支援施設 梨丘園

サマープチフェスタで、フラダンスを体験しました。

鷹尾伏純子先生の「アロハ!」の呼びかけで、ハワイアンステージが始まり、まずは「月の夜は」という日本語の曲の振り付けを教わりました。フラの振り付けには一つひとつ意味があることを知り、手の動きに表情をつける事に苦労しながら、みんなで一曲完成させました。

最後には、利用者の皆さんに先生からフラのプレゼントがありました。初めて観るプロの踊りにみんな大感激。青い海、白い砂浜のハワイの景色が目に浮かぶようでした。



フラの動きを練習中



しなやかな踊りに見とれました

台風に負けない賑やかな祝賀会

盲養護老人ホーム 梨ノ木園

敬老の日、台風18号により、住宅浸水、路肩の崩落や冠水による道路寸断など、伊賀地方にも多くの被害がもたらされました。そのような状況下ではありましたが、利用者と職員全員で敬老祝賀会を行ないました。

白寿と米寿を迎えられた利用者は、「おめでとう」と声が掛かるたびに、笑顔で応えられていました。

その後、職員が漫才を披露しました。目の不自由な方にもうまく伝わるように工夫を凝らし、オチの部分でトライアングルを『チーン』と鳴らすと、会場内は賑やかな笑い声に包まれました。



長寿を祝って記念撮影

実りの秋を楽しもう ～炭火焼きの秋刀魚は最高～

盲養護老人ホーム 梨ノ木園

厳しい暑さが少し和らいだ秋晴れの日、屋外で旬の食材を味わいました。

秋の味覚の代表といえば、秋刀魚。その秋刀魚を炭火でじっくりと焼き上げました。煙と共に運ばれる香ばしい香りと、溢れ出た脂が炭に



焼きたての秋刀魚を丸かぶり

落ちる心地よい音が最高の秋を演出します。

添えたカボスが一段と食欲を増し、準備してあったたくさんの秋刀魚はすぐになくなりました。

夏は屋内で過ごすことが多かった利用者の皆さんにも、秋の訪れを感じていただけたようです。



「折り紙」の楽しみは自分で折ること

老人デイサービスセンター なしのき

折り紙はとても身近で、幼い頃から馴染み深いものの一つです。利用者のお一人が覚えた「くす玉づくり」がきっかけとなり、趣味活動の時間は折り紙で盛り上がっています。一枚の紙で一つのピースを作り、配色を考えながらいくつものピースを組み合わせさせていきます。

「指先がうまいこと動かへん、無理や」という人には、「ちょっと手伝おうか」と温かい励ましの言葉がかかります。

母親に教わった光景を思い浮かべながら、自分で折る楽しさや喜びを味わっていただいています。



うちら陽気な折り紙仲間♪

診療所だより

長い学名のこと

北杜夫の自伝的エッセイ“医学部というところ”に以下のような記載があります。解剖学名の中にはとんでもない長いやつがある。たとえば首のところを斜めに走っている重要な筋肉は、ムスクリス・ステルノクライドマストイデウスという(私はあんまり癪にさわって、「幽霊」という最初の長編の中にこの名をわざわざ使用したことがある)。

ムスクリス・ステルノクライドマストイデウス(胸鎖乳突筋)は頸部にある筋肉の一つで、左右一対、両側が同時に働くとオトガイを上げて後頭部を前下に引く、つまり首をすくめることができ、片側が働けば頭を対側に回すことになります。胸鎖乳突筋は交通事故やラグビー、アメフトなどのコンタクトスポーツで損傷しやすい筋肉です。

梨ノ木診療所

管理医師 新 克也

視覚障がい児童の教科書を点訳

上野点字図書館

当館では、視覚障がい児童が小学校で使用する教科書の点訳を行なっています。教科書には、写真、地図、イラストなど文字以外の重要な内容も多く含まれています。それらを点図（点を並べて描いた図）として表したり、言葉で説明を加えるなど、工夫しながら製作に取り組んでいます。



書写の教科書を点訳

小学校の6年間は、学習の土台を築く大切な時期です。今後も、わかりやすい資料を提供できるよう、努めていきたいと思ひます。

お墓参りをさせていただいています

かしの木ひろば

就労継続支援B型事業の「お墓参り代行」を当法人のホームページで知った大阪在住の方から「身体が不自由になり、1年間お墓参りをしていないので、代わりにお参りをしてください」と電話をいただきました。



お墓掃除の後、花と線香を供え、お参りさせていただきました。きれいになったお墓の写真を送らせて

いただくと「80歳を過ぎた母も大変喜んでいました」とご家族からの感謝の声と共に、次回のご依頼もいただきました。

これからもお墓参りが困難になられた方々のお手伝いができればと思っています。

お問い合わせ先：かしの木ひろば

☎0595-21-2745



Aさんが育てたピーマン

これからのレパートリーを増やしていきたいとメニューを考えることにも意欲的で、野菜の生長を楽しみにされています。

味は最高！

野菜作りを 始めました

かしの木ひろば

Aさんのヘルパー支援がスタートして5年になります。当初は食

べたい料理の材料をヘルパーが購

入して、一緒に作っていました。2

年前から「自分で野菜を作って

みたい」と、家庭菜園を始めました。

今年は、じゃがいも・玉ねぎ・

ピーマン等を栽培しました。採れ

た野菜に合わせて、どんな料理を

作るかを考え、調理しています。

自分で育てた野菜を使った料理の

味は最高！

これからのレパートリーを増や

していきたいとメニューを考える

ことにも意欲的で、野菜の生長を

楽しみにされています。

ありがとうございました

～ロート製薬株式会社“かるがも基金”～

上野点字図書館

昨年にひきつづき、ロート製薬株式会社様の“かるがも基金”よりご寄付を頂戴しました。今回は利用者の皆さんに図書をお届けするための郵送袋と図書製作用の点字編集ソフト並びにマイク等の備品を購入させていただきました。

これからも、点字図書・録音図書を必要とするより多くの皆さんに読書を楽しんでいただけるよう、図書の製作に努めていきます。



郵送袋と図書製作の備品を整備

お知らせひろば

◆ご支援ご協力いただいている方々◆

(平成25年6月～平成25年9月)

《個人》

—敬称略・五十音順—

井岡 昭、稲森きぬ子、稲森 稔育、稲森千鶴子、稲森 律子、井上 年巳、
今矢 義文、上田 泰邦、岡田 勝美、岡森 金一、岡森眞理子、小川 俊二、
奥田 英夫、奥田やえ子、越知ひろ子、貝増 恒子、門田 進、上村 倫子、
北泉 優子、葛岡エミ子、葛原 義一、清水 栄子、角田 宗成、角田 充代、
竹島 和美、田中 澄夫、田中 美紀、田中美代子、田村 敏子、田山紗知子、
塚本 初子、豊岡 百子、豊田 實、中川 定子、中森 昇、中森 洋子、
中矢 英夫、中山 洋美、西出 成子、服部 忠文、平井つゆ子、福田 定子、
福森 茂貴、藤井 充子、藤島 千代、藤永 清信、藤林 政代、藤森 直美、
前川 悟、前川 俊英、松田 玉江、松田 雅子、南出 寛三、森 喜良、
森 令子、森岡 佑子、森下 弘子、森田 満枝、森中 一美、矢口キヌ代、
矢倉 昌、山口 義美、山下 吉男、山本 新、山本 浜子

《団体》

—敬称略・順不同—

上野点訳奉仕グループあい、上野音訳グループしのび、
名張点訳グループあかり、名張音訳グループこたま、
ボランティアグループあゆみ、ボランティアグループミックスジュース、
伊賀市更生保護女性の会、絵手紙いろは、絵本ボランティア「もっこり」、
おはなしクラブいがり、蕨門ホール「語り部塾」、
長田なたねの郷づくりの会、ひよっこ育成クラブ、マンマミダ、
三田コース、伊賀FCくノ一、南山城村、上野高等学校吹奏楽部、
伊賀市上野視覚障害者福祉会、伊賀市人権擁護委員協議会、
伊賀地区交通安全協会女性部、印代地区、大滝地区、桂地区、朝屋地区、
治田地区、予野地区、上野桑町自治会、上野徳居町老人クラブ、
上野福居町老人クラブ、寺田市民館、寺町老人会、友生地区住民自治協議会、
中瀬地区老人クラブ、長田地区住民自治協議会、府中公民館、
ゆめが丘地区民生委員児童委員、伊賀市上野仏教会、黒住教上野中教会、
西蓮寺、常住寺、日蓮宗法音寺上野支院安立寺、平井神社、伊賀焼谷本洋陶房、
キッコーマン飲料、グリーンティー高尾、コーカ共同製茶、
田山第一共同製茶工場、田山南部共同製茶工場、志摩すし店、鶴亀、
ふくち歯科クリニック、ロート製薬

ボランティアグループ「ミックスジュース」
奉仕者表彰受賞

9月9日、東京都内のホテルにおいて、社会福祉法人日本盲人社
会福祉施設協議会主催の第61回全国盲人福祉施設大会が開催され
ました。その席上で、ボランティアグループ「ミックスジュース」
の皆様が、奉仕者表彰を受賞されました。

会員の皆様には、梨ノ木
園の園外散歩や往古梨まつ
り等、利用者の誘導介助に
ご協力いただいています。

今回の受賞を心からお祝
い申し上げますとともに、
多年にわたるご奉仕に深く
感謝いたします。



「ミックスジュース」の皆様

新任職員

フォローアップ

研修会

4月に新規採用された職
員を対象に、フォローアッ
プ研修会を開催しました。

参加者からは、職場環境
や業務に慣れてきた時期に
研修を受けることで、採用
時に学んだ内容を再確認
し、新たな気づきを得るこ
とができたとの声がありま
した。また、それぞれに抱
える悩みや課題などを同期
の仲間と話し合い、問題意
識を共有することで、仕事
に対する意欲を高める機会
にもなったようです。

第67回芭蕉祭

芭蕉翁献詠俳句特選句

おいかけたとかげのしっぽでおおさわぎ
プールにねもぐるとあしがいっぱいだ

府中保育園 岡本育実

三田保育園 南畑祐心

今年も当法人施設のご利用者と保育園の子ども
たちが、献詠俳句に応募し、特選句に2句、入選
句に40句が選ばれました。



コミュニケーションスキルの研修風景

第28回 子どもフェスティバル

—自然の中であそぼうよ—

平成25年11月9日(土) 9:30～16:00

三重県伊賀市ゆめが丘1-1-3

三重県立ゆめドームうえの 第1 競技場

- あそびの広場
 - 3、4、5歳児絵画展示
 - 子どもと食事
 - 子どもと保健
 - ファミリーコンサート
- 「スキップ楽団」



上演時間 ①10:30～ ②13:30～

第13回
おこなし
往古梨まつり

“家族とともに地域とともに支え愛”

一心に残そう この瞬間を—

平成25年11月3日(日) 10:30～15:00

三重県伊賀市朝屋734-1 梨ノ木園ひろば

- なしのきコンサート
大正琴アンサンブル ナ ナ
「スウィーティー Nana」
- 各種コーナー
お食事、ゲーム等



※午後は各施設でさまざまな催しをします！

当法人の施設

	盲養護老人ホーム	梨ノ木園
	特別養護老人ホーム	第二梨ノ木園
	老人ショートステイ	第二梨ノ木園
	老デイサービスセンター	なしのき
	在宅介護支援センター	なしのき
診療所	梨ノ木診療所	
保育所	曙保育園	
	睦保育園	
	三田保育園	
	中瀬城東保育園	
	友生保育園	
	花之木保育園	
	予野保育園	
	長田保育園	
	古山保育園	
	みどり保育園	
	ひかり保育園	
	みどり第二保育園	
	府中保育園	
	ゆめが丘保育所	
	かしのみ園	
	ヴェルデ	
	キッズうえの	
	ふたば	
	フレンズうえの	
	第２フレンズうえの	
	風の丘	
	第２風の丘	
	梨丘園	
	かしの木ひろば	
	上野点字図書館	
	伊賀市盲人ホーム	
	盲人ホーム	法人本部事務局
	障害福祉サービス事業所	
	点字図書館	
	盲人ホーム	
	障害者支援施設	
	心身障害児療育施設	
	日中一時支援助事業所	
	放課後児童クラブ	

記 後 集 編

今年の夏は、過去最高気温が次々と更新され、各施設では熱中症対策に細心の注意を払ってきました。やっと涼しくなったかと思うと、今度は次々に台風が発生し、猛威をふるいました。当地域でも台風18号による河川の増水、家屋の床上浸水、道路寸断などの被害を受け、浸水被害を受けた地域へ、ボランティアの方々が駆けつけてくださいました。人々が助け合う姿、人と人との絆を目の当たりにし、当法人設立の精神である相扶相愛の重要性を改めて感じました。

四季折々の自然に恵まれた美しい日本ですが、自然災害とも向き合っていかなければなりません。今年の猛暑、台風直撃などの経験を生かして、できる限りの対策を怠らないようにしたいと思います。

会報発行にあたり、多くの皆様にお力添えをいただき、ありがとうございました。会報を通して皆様との絆が結べたら幸いです。今後ともご指導をお願いします。（編集子T）

(編集子 T)

いま、私たちは

「あなたの力」を求めています

保育士

看護師

介護職員

伊賀市社会事業協会は、保育施設・高齢者施設・障がい者施設・医療施設などを運営しています。保育士資格をお持ちの方、看護師（正・准）免許をお持ちの方、介護職員など、幅広い分野であなたの力を求めています。未経験の方、ブランクのある方も安心して勤務していただけます。まず、ご連絡ください。

また、26年4月採用の学卒者（保育士・介護職員）の応募も受け付けています。

法人本部事務局 ☎0595-21-5545